

学則変更の趣旨等を記載した書類 目次

- I 学則変更（収容定員変更）の内容…………… p.1

- II 学則変更（収容定員変更）の必要性…………… p.1

- III 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容
…………… p.2

学則変更の趣旨等を記載した書類

I 学則変更（収容定員変更）の内容

理工学部令和3年度以降の学生定員を以下のとおりに変更する。

現行（令和2年度現在）				変更後（令和3年度以降）				増減			
理工学部理工学科				理工学部理工学科							
学系名	入学定員	編入学定員	収容定員	学系名	入学定員	編入学定員	収容定員	学系名	入学定員	編入学定員	収容定員
生命	63	2年次 4 3年次 4	1,940	生命	63	2年次 4 3年次 10	1,940	生命	0	2年次 0 3年次 6	0
数物	31			数物	39			数物	8		
化学	63			化学	63			化学	0		
機械	96			機械	80			機械	△ 16		
電気	68			電気	68			電気	0		
情報	104			情報	104			情報	0		
土木	55			土木	60			土木	5		
合計	480	合計	477	合計	△ 3						

※理工学部の入学定員を3名減じ、3年次編入学定員を6名増加させるが、理工学部全体の収容定員には変更はない。

II 学則変更（収容定員変更）の必要性

理工学部理工学科は平成25年4月に発足以来、生命学系、数物学系、化学学系、機械学系、電気学系、情報学系、土木学系の7学系を配置し、これらの学系が協調して教育研究を担い、専門性と理学・工学の垣根を超えた幅広い知識や技術を有する職業人を社会に輩出することを目的とし、教育課程の編成・実施方針に基づき、さらに10コースに細分化している。この中で、今回、以下に示す趣旨のもと、機械学系3コースの1コースへの変更に関連し、理工学部の一部の学系・コースの入学定員と3年次編入学定員の割り振りを変更する。

これまで機械工業分野は多様化の一途をたどり、機械学系においては入学生の興味ならびに社会のニーズにあわせて、環境・エネルギー、航空・宇宙、産業機械や家電などを総合的に学修する総合機械コース、自動車を中心に航空機や船舶など輸送・動力を中心に学修する自動車コース、災害・福祉、産業ロボットやメカトロニクス分野を中心に学修するロボティクスコースの3コース体制としてきた。ところが、メカトロニクス技術の進歩により人工知能AIをはじめとするコンピュータを使用した高度な情報処理・制御技術が発達し、これまで細分化されていた機械工業分野がインテリジェント化により集約される方向で再編が進んでいる。また、本学における機械学系3コースの卒業後の進路を見ても、コースの

優位性はなく、広く機械工業および関連企業に分布している。そこで、機械学系では3コースを統合し、機械関連技術のあらゆる分野またそれらの融合分野に対応する人材を育成するために先進機械コースを設置するに至った。

これを受けて、理工学部の一部の学系の入学定員と3年次編入学定員を以下の様に変更することとした。機械学系においては、入学定員96名（収容定員384名）を入学定員80名（収容定員320名）とし、総合機械コース、自動車コース、ロボティクスコースを統合することにより新たに先進機械コースを設置する。表1に機械学系全体の現行と令和3年度以降の入学定員と教員数（カッコ内は教員数の中の助手の数）を示す。先進機械コースの教員数から判断し、入学定員の80名は妥当な人数と判断した。

この機械学系の入学定員減少後の定員については、理工学部全体の学生募集状況等を考慮して以下の様に振り替える。数物学系においては、入学定員31名から39名（収容定員124名から156名）、土木学系では、入学定員55名から60名（収容定員220名から240名）とする。また、電気学系では入学定員（68名）を変更せずに学系内2コースで定員を4名増減する（電気・電子コース44名、健康スポーツ計測コース24名へと変更）。一方、3年次編入学定員を4名から10名へと増員する。この結果、理工学部の入学定員は477名となるが、学部全体の収容定員数は1940名で変更はない。

表1

	学系	コース	入学定員	教員数（助手数）
現行	機械学系	総合機械コース 自動車コース ロボティクスコース	96	15(5)
令和3年度以降	機械学系	先進機械コース	80	12(4)

Ⅲ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

機械学系について、旧3コース制から先進機械コース1コース制に変更するものの、教育課程、教育方法及び履修指導方法、教員組織、および施設・設備は、従来から一部のコース専門科目を除き機械学系全体として共通化している。また、カリキュラム作成において、機械学系旧3コースそれぞれのコース独自科目については、すべて先進機械コースに組み込むものとする。一方、数物学系、土木学系、電気学系ではコースの教育課程等の変更はない。このため、今回の入学定員変更にもなう機械学系、数物学系、土木学系、電気学系の各コースにおいて以下の各項目についての変更は、特段行わない。

- (ア) 教育課程の変更内容
- (イ) 教育方法及び履修指導方法
- (ウ) 教員組織の変更内容
- (エ) 大学全体の施設・設備の変更内容

以上